

殿町夜光線における大型車の路上駐停車の抑制対策に関する 社会実験の結果をお知らせします

川崎臨海部の幹線道路の円滑な交通に資することを目的に、市道殿町夜光線の沿線に仮設トラック待機所を設置する等による、設置前後の状況変化を把握し、今後の大型車の路上駐停車の効果的な抑制対策に反映するために社会実験を行いました。この結果、仮設トラック待機所の利用が朝と昼に集中することや、ラバーポール設置により路上駐停車が減少したこと等が確認されましたのでお知らせします。

1 社会実験概要

(1) 実施期日

- ① 仮設トラック待機所設置期間
令和5年11月9日(木)～令和6年3月8日(金)（114日間）
- ② 臨海部立地企業ヒアリング実施
仮設トラック待機所閉鎖後の令和6年4月中

(2) 実験内容

- ① 殿町夜光線沿線に仮設トラック待機所を1ヵ所開設（駐車面積 約3,200㎡）
※ 場 所：かわさき南部斎苑と入江崎水処理センターとの間
※ 待機所：バイオトイレ・自動販売機等を設置し、大型車の路上駐停車車両を誘導
- ② 仮設トラック待機所の開設1か月後の12/7から、殿町夜光線の上下線の路肩（別紙2参照）にラバーポールを設置し、現在も継続して設置
※ 設置区間：かわさき南部斎苑前～運輸支局前交差点（約760m）
- ③ 仮設トラック待機所やラバーポールの設置前と事後の路上駐停車台数、仮設トラック待機所の利用台数を調査

2 社会実験結果

(1) 仮設トラック待機所の利用

朝(7:00～9:00頃)と昼(12:00～13:00頃)の時間帯に集中

別紙1参照

- ① 最大利用台数（1/9（火曜日）、90台）における利用集中時間帯
ア 朝（7:00～9:00頃）に利用し出発する車両が **30%** の27台
イ 昼（12:00～13:00頃）に利用し出発する車両が **約18%** の16台
※16台のうち、約6割の10台が1時間未満の利用
- ② ラバーポール設置による仮設トラック待機所の1日の利用台数の変化
前（11/7～12/7） 平均利用台数 約25台
後（12/8～3/8） 平均利用台数 約63台 **【約2.5倍に増加】**

(2) ラバーポール設置後に大型車の路上駐停車が減少

別紙2参照

調査については、土日祝日を除く平日に、2日に1日の頻度で、午前と午後にそれぞれ1回実施

① 実験実施による路上駐停車の変化

ア) 調査区間

事前（10/27～11/8）平均路上駐停車台数 37.0台/回
実験中（11/9～3/8）平均路上駐停車台数 13.1台/回 **【約65%減少】**

イ) その他の区間

事前（10/27～11/8）平均路上駐停車台数 42.7台/回
実験中（11/9～3/8）平均路上駐停車台数 31.3台/回 **【約27%減少】**

② ラバーポール設置による路上駐停車台数の変化（調査区間）

設置前（10/27～12/7）平均路上駐停車台数 32.5台/回
設置後（12/8～3/27）平均路上駐停車台数 8.3台/回 **【約74%減少】**

(3) 臨海部立地企業へのヒアリングから、路上駐停車の抑制対策の取組を確認

大型車の路上駐停車の抑制に関して、臨海部立地企業のうち14事業所にヒアリングを行い、このうち8事業所が「自社敷地内に荷待ち車両の待機所を設置している」と回答

⇒ 引続き他の事業所に対して路上駐停車の抑制対策についてヒアリングを実施予定

3 今後について

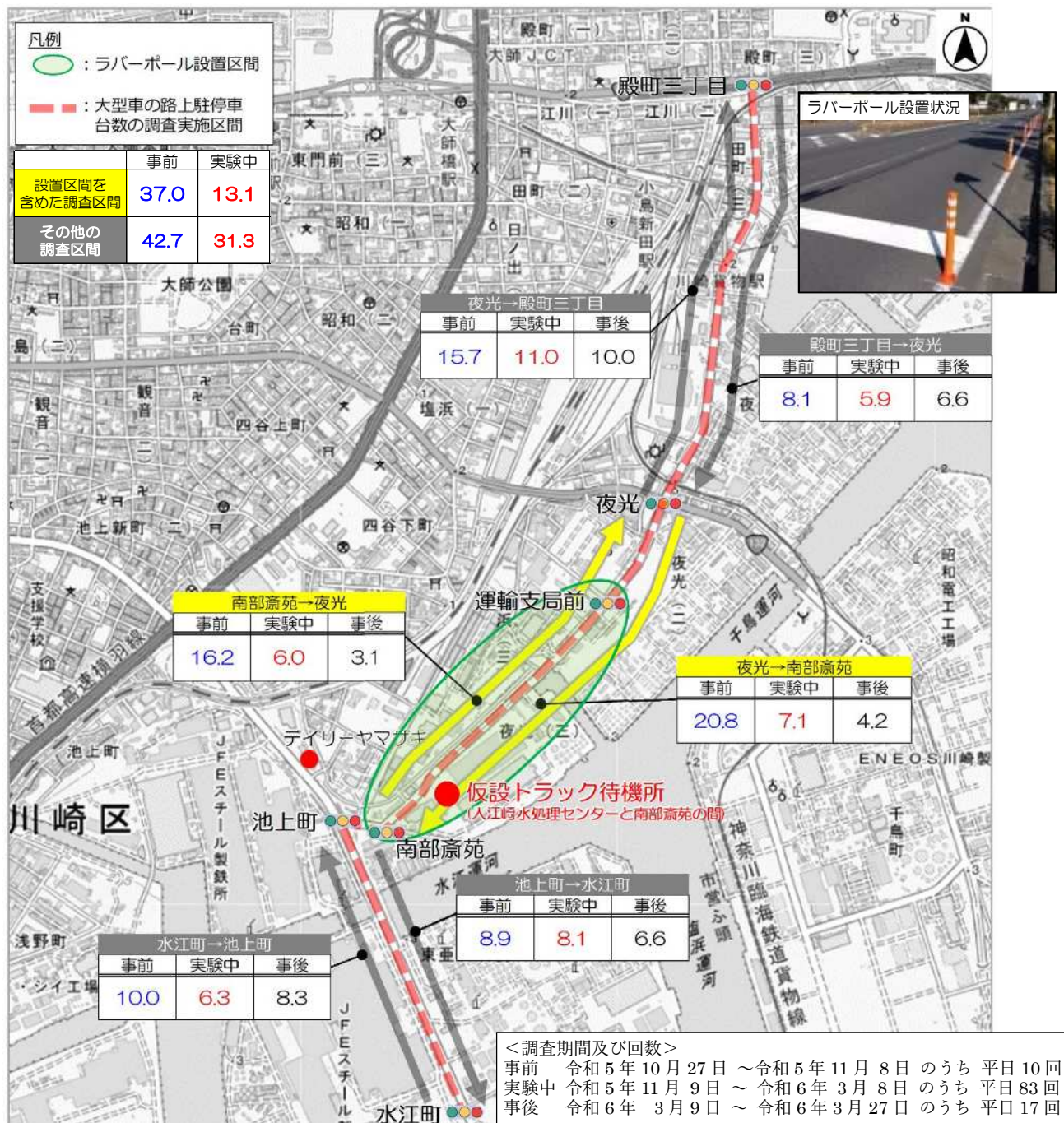
大型車の路上駐停車の抑制に向けて、今回の社会実験の結果や、事業所等の対応状況を踏まえながら、要因の検証と効果的な対策について、関係者と連携しながら引き続き取り組んでいきます。

【問合せ先】

川崎市臨海部国際戦略本部拠点整備推進部 石川
電話 044-200-3788

② 大型車の路上駐停車の台数について

調査時の大型車の路上駐停車台数(台/回)



③ 大型車の路上駐停車抑制対策(ラバーポール)の設置効果について 殿町夜光線(南部斎苑～夜光交差点)

設置前



設置後



＜調査期間及び回数＞
 ラバーポール設置前 10月27日～12月7日のうち 土日祝日を除く 平日29回
 ラバーポール設置後 12月8日～3月27日のうち 土日祝日を除く 平日81回